

長野県高等学校入学者選抜制度等検討委員会
第2回 資料

	ページ
1 第1回委員会のまとめ	1
【資料1】 H29年度私立高校入学者選抜要項概要	4
【資料2】 平成23～29年度私立高等学校（全日制）の募集定員	6
【資料3】 私立高等学校入学者の通学区別内訳 部外秘 別冊	1
【資料4】 長野県公立高等学校入学者選抜の倍率・進学率の推移	7
【資料5】 平成29年度旧12通学区別入学者流出入表（公立全日制）	7
【資料6】 平成28年度中学校卒業者の県外進学者数 部外秘 別冊	2
【資料7】 中学浪人数の推移 部外秘 別冊	3
【資料8】 前期選抜受検者の状況 部外秘 別冊	3
【資料9】 平成18年度前期選抜入学者 追跡調査結果 部外秘 別冊	4
【資料10】 平成23～25年度入学者選抜に関するアンケートについて	8
【資料11】 平成29年度学力検査について 各校からの要望・意見	10
2 高大接続改革や学習指導要領の改訂の概要について	
(1) 高大接続システム改革会議「最終報告」概要（抜粋） （高大接続システム改革会議、平成28年3月31日）	12
(2) 高大接続改革の実施方針等の策定について（抜粋） （文部科学省、平成29年7月13日）	19
(3) 学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）（抜粋） （中央教育審議会、平成28年12月21日）	23
3 現行制度の評価と課題の再検討について	
入学者選抜制度等検討委員会 課題の整理（案）	26
4 他県での選抜制度の改革状況について	27

第1回委員会のまとめ

I 説明概要

1 「学びの改革 基本構想」について

- ・時代の変化に対応した資質・能力、「学力の三要素」を適切に評価する入学者選抜制度の在り方
- ・中学校段階で身に付けた「新たな社会を創造する力」などが正しく評価され、引き続き高校においてもその力がさらに向上し、次のステップにつながるような入学者選抜制度

2 現行の入学者選抜制度について

(1) 前期選抜

- ・調査書と各学校が示す「募集の観点」に基づく面接、作文又は小論文及び実技検査の結果により総合的に判断
- ・検査期日：平成29年2月8日(水) (一部の学校は9日も)
- ・募集人員：募集定員の50%以内 (特色学科は90%以内) とし各学校が定める

(2) 後期選抜

- ・調査書と5教科の学力検査及び各学校で定める面接、作文又は小論文及び実技検査の結果により総合的に判断
- ・検査期日：平成29年3月8日(水) (一部の学校は9日も)
- ・募集人員：募集定員から前期選抜入学確約書提出者数を除いた数

(3) 再募集

- ・調査書と5教科の学力検査及び各学校で定める面接、作文又は小論文及び実技検査の結果により総合的に判断
- ・後期選抜の学力検査を受けた者のうち入学予定者に内定しなかった者が対象
- ・募集人員：募集定員から入学予定者数を除いた数

(4) 平成29年度入学者選抜の結果

- ・受検倍率 (前期選抜)：公立全日制 1.65 倍、定時制 1.46 倍
- ・受検倍率 (後期選抜)：公立全日制 1.07 倍、定時制 1.11 倍
- ・進学率：公立全日制 74.1%、定時制 2.8%、私立 17.4%

3 現行の通学区制について

(1) 長野県立高等学校の通学区域に関する規則

- ・高等学校の通学区：4通学区 (教育長が定める学科の通学区は県内全域)
- ・当該通学区内の高等学校のほか当該通学区に隣接する他の通学区内の高等学校を志願可
- ・特別の事由のある者で、長野県教育委員会が承認したものには適用しない

(2) 通学区別流出入 (全日制) の状況

- ・志願承認願提出受検者：[第1→第3] 3名、[第3→第1] 5名

4 現行の入学者選抜制度と通学区制における課題について

(1) 入学者選抜制度と通学区制の変遷

- ・平成16年 前期選抜導入、普通科において4通学区制の導入
- ・平成23年 前期選抜の実施を各学校の判断に委ねる、全日制普通科28校が取り止め

(2) 前期選抜の成果と課題 (平成21年7月定例会)

(3) 平成16年度、17年度、18年度前期選抜入学者 追跡調査結果

- ・3年間で卒業率、4年制大学への現役進学率、部活動の3年間継続率、生徒会の役員率

(4) 前期選抜改革の主な論点 (平成21年9月定例会)

- ・前期選抜の実施について

- ・前期選抜の可否の判定基準が曖昧
 - ・ある程度の数の不合格者を出さざるを得ない状況
 - ・受検機会の複数化
 - ・中学三年生の指導上の困難さ
 - ・選抜事務の負担増
- (5) 前期選抜の見直しについて指摘されている主な課題（平成 21 年 11 月定例会）
- ・前期選抜における不合格者数の多さ
 - ・前期選抜の不合格者のほとんどが後期選抜で再び同一の高校を受検
 - ・可否判定基準の曖昧さあるいは可否判定への納得が得にくいとの指摘
- (6) 平成 23 年度県立高等学校入学者前期選抜の実施校について（平成 22 年 3 月定例会）
- ・「指摘されている課題」に留意し、各学校で前期選抜の実施の有無を検討
 - ・前期選抜の実施を各学校の判断に委ねる（全日制普通科 28 校が取り止め）
- (7) 前期選抜改革後の入学者選抜に関するアンケート調査（平成 23 年度から 3 年間）
- ・今後の前期選抜のあり方を検討するための資料とするためアンケート調査を実施
 - ・入学者及びその保護者、中学校都市校長会長、公立高等学校長に対して
- (8) 学力検査問題の内容等の改善を検討（平成 27 年・28 年局内ワーキンググループ）
- ・「思考力、表現力、判断力」を評価できる問題に改善
- (9) 入学者選抜制度の見直しに係る国の動き
- ・中教審答申「学習指導要領等の改善」等（平成 28 年 12 月 21 日）
グローバル化や情報技術（IT）の進展などを踏まえ、「情報活用能力」や「課題発見能力」・「課題解決能力」などの育成
 - ・高大接続システム改革会議「最終報告」（平成 28 年 3 月 31 日）
従来の知識偏重から思考力重視への転換
 - ・インフルエンザ罹患者等に対する追検査等の実施（文部科学省通知、平成 29 年 3 月 29 日）

II 各委員からの質問・意見等（新たな資料提供の要望等、必要なもののみ掲載）

【藤森委員長】私立高校の選抜に関する内容等の情報は把握しているのか、この議論の中でそれを加味する必要があるのか

【木下委員】私立高等学校の状況（併願、専願、通学区を超えた進学率などのデータ）

【赤羽委員】前期と後期の倍率の関係、私立と公立の入学率の関係はどのように推移しているか、23 年度からの通学区ごとの状況

- 【資料 1】 H29 年度私立高校入学者選抜要項概要 [p. 4~5]
- 【資料 2】 平成 23~29 年度私立高等学校（公立全日制）の募集定員 [p. 6]
- 【資料 3】 私立高等学校入学者の通学区別内訳 **部外秘** [別冊 1]
- 【資料 4】 長野県公立高等学校入学者選抜の倍率・進学率の推移 [p. 7]

【清水委員】前期選抜の通学区ごとの不合格者が後期選抜においてどの区を受検するか

- ・第一志望の学校に前期で受検し不合格になった際に学力面の準備が整っていないと、後期選抜の志願先に大きく影響するのではないのか。
- ・県全体が広く人口分布も違い、高校数も違う中、どのように生徒が動いているのか
- ・第 1 志望で前期受検なのか、本当は後期のみところが第 1 志望であるが前期でどこかへチャレンジしているのか等、いろいろなケースがあるのではないのか。その辺の実態に係る資料があればいろいろ考えやすい

→ とりあえず 1 2 区ごとの細かな流出入の実態の資料提供 【塩野課長】

- 【資料 5】 平成 29 年度 旧 12 通学区別入学者流出入表（全日制） [p. 7]

【木下委員】県外高等学校への流出状況、第 3 通学区から愛知県へ、第 4 通学区から岐阜県へ、第 1 通学区から新潟県へ、などの資料

- 【資料 6】 平成 28 年度中学校卒業者の県外進学者数 **部外秘** [別冊 2]

【藤森委員長】通学区ごとの中学浪人の推移に係る資料

【資料7】 中学浪人数の推移

部外秘 [別冊 3]

【芳原委員】前期選抜での不合格者が同一校を後期選抜で受検しているか、別の高校を受検しているのか

→ 個別データは難しい【塩野課長】→ 可能な範囲でお願いしたい【藤森委員長】

【資料8】 前期選抜受検者の状況

部外秘 [別冊 3]

【小林委員】役員率とか部活継続率とか、意欲が高い生徒が前期選抜の4大進学率が低いことに関連して、中学と高校で主体的、対話的な深い学び、意欲に支えられた学力をどのように評価したか

【久世委員】平成16～18年度に実施した追跡調査結果について、通学区ごとの普通科と専門学科、特色学科別のデータ

【木下委員 E-mail】同データの「学科別」のもの、「普通科」については前期選抜を継続している学校と前期選抜を止めた学校に分けた資料 ～大きな変化なければ単年度のみでも可

【吉田委員】四大進学率のデータについては、慎重に扱う必要あり

【資料9】 平成18年度前期選抜入学者 追跡調査結果

部外秘 [別冊 4]

【清水委員】平成23～25年度のアンケートについて、対象者と回答率に係る資料

・肯定的または否定的な意見の割合に係る資料

【資料10】 平成23～25年度入学者選抜に関するアンケートについて

[p. 8～9]

【吉田委員】平成29年度入学者選抜業務や検査問題に係る現場の声をまとめた資料

【資料11】 平成29年度学力検査について 各校からの要望・意見

[p. 10～11]

【清水委員】前期選抜において学力検査をせずに生徒の個性を多面的に評価することに対して、評価の客観性や妥当性を問題にする見方もあるので、その辺がうまく共有されているか

【小林委員】多様な評価の尺度というのが募集の観点となって各校で行われているが、新しい学習指導要領の中で重視されている、他者と一緒になって考えると、人間性とか、学びに向かう力とか、そういう「意欲」に関するところがどのように各校の募集の観点の中に入ってくるのか、がとても大切。募集の観点の内容の在り方も考える必要あり

【藤森委員長】統計的なデータだけでなく、無視できない大きな事例が選抜の中にあるのかということも知ることができる範囲で話題にできればと思う。

【関連資料】 なし

【藤森委員長】平成23年度の改善によっても未だ残る課題の論点はどの方面の論点か

➡ 4の(3) 現行制度の評価と課題の再検討について

[p. 26]

【資料1】

平成29年度私立高等学校入学者選抜要項 概要

私学・高等教育課

(平成28年8月25日現在)

学校名	学科名	推薦入学者選抜					一般入学者選抜					第2次募集	備考
		願書受付期間	学力検査日	試験科目	面接の有無	合格発表日	願書受付期間	学力検査日	試験科目	面接の有無	合格発表日		
長野清泉女学院	普通	中学校長推薦選抜 1/10～1/12(正午)	(面接1/18)	—	○	1/27	特進選抜(特進のみ) 1/10～1/12(正午)	1/18 (面接1/19)	国・数・英(リスニングを含む)	○	1/27	実施しない	
		自己推薦選抜 1/10～1/12(正午)	1/18 (面接1/19)	作文			一般入学選抜(特進・進学) 2/1～2/3(正午)	2/9 (面接2/10)	国・数・英(リスニングを含む)		2/20		
長野女子	普通	学校長推薦入試 1/11～1/12(午後3時)	1/18	—	○	1/24	2/1～2/3(午後3時)	2/9	国・数・英(リスニングを含む)	○	2/15	実施しない	
		自己・他者推薦入試 1/11～1/12(午後3時)	1/18	国・数・英									
文化学園長野	普通	特別進学コース・特進選抜コース 1/16～1/17(午後4時)	1/20	国・数・社・理・英	○	1/26	特別進学コース・特進選抜コース 12/19～12/20(午後4時)	12/23	国・数・社・理・英	○ (専願のみ)	12/28	実施しない	
		進学コース 1/16～1/17(午後4時)	1/21	作文			特別進学コース・特進選抜コース 1/16～1/17(午後4時)	1/20	国・数・社・理・英		1/26		
		特別進学コース・特進選抜コース 2/15～2/16(午後4時)	2/18	国・数・社・理・英			特別進学コース・特進選抜コース 2/15～2/16(午後4時)	2/18	国・数・社・理・英	○ (専願のみ)	2/23		
進学コース 2/15～2/16(午後4時)			進学コース 2/15～2/16(午後4時)		国・数・英								
長野日本大学	普通	1/7～1/11(午後4時)	(面接1/13)	—	○	3/1	2/2～2/6(午後4時)	2/9	国・数・英(リスニングを含む)	—	3/1	実施しない	
長野俊英	普通	1/17～1/18(午後5時)	1/23	作文	○	1/26	2/14～2/15(午後5時)	2/18	国・数・英(リスニングを含む)	○	2/24	未定	
上田西	普通	1/11～1/12(午後4時)	1/17	作文	○	1/20	1/25～1/27(午後4時)	2/3	国・数・英(リスニングを含む)	○	2/10	実施しない	
佐久長聖	普通	1/11～1/17(午後5時)	1/21	国・数・英	—	1/23	東京入試 12/12～12/27(午後5時)	1/9	国・数・英	—	1/12	実施しない	
							1/23～1/26(午後5時)	2/1	国・数・社・理・英(リスニングを含む)		2/9		
東海大学付属諏訪	普通	学校推薦入試 1/16～1/18(午後4時)	(面接1/23)	—	○	1/25	2/16～2/17(午後4時)	2/23	国・数・英(リスニングを含む)	○	2/27	実施しない	
		自己推薦入試 1/16～1/18(午後4時)	1/23	作文									
伊那西	普通	第1回校長推薦入試 2/1～2/6(正午)	(面接2/8)	—	○	2/11	2/22～3/6(正午)	3/8	国・数・英(リスニングを含む)	○	3/11	実施しない	
		第2回校長推薦入試 2/22～3/6(正午)	(面接3/7)	3/11									
飯田女子	普通	A推薦入試(専願) 2/1～2/3(正午)	(面接2/8)	—	○	2/10	進学コース 2/16～2/22(正午)	2/25	国・数・英(リスニングを含む)	○ (専願のみ)	2/27	未定	
		B推薦入試(専願) 2/16～2/22(正午)	(面接2/25)	2/27		総合コース 2/22～3/3(正午)	3/8	○	3/17				

学校名	学科名	推薦入学者選抜					一般入学者選抜					第2次募集	備考
		願書受付期間	学力検査日	試験科目	面接の有無	合格発表日	願書受付期間	学力検査日	試験科目	面接の有無	合格発表日		
東京都 大学塩尻	普通	特別入試(方式Ⅰ) 12/19～12/22, 12/26 1/5～1/6(午後4時)	1/11	—	○	1/18	2/13～2/16(午後4時)	2/21	国・数・英(リスニングを含む)	○	2/28	定員に 達しない 場合	
		特別入試(方式Ⅱ) 12/19～12/22, 12/26 1/5～1/6(午後4時)	1/12	国・数・社・理・英(リスニングを含む)	—								
		推薦入試 1/18～1/20(午後4時)	1/23	小論文(自己推薦のみ)	○	1/27							
松商学園	普通 商業	学校長推薦 自己推薦(特進コースのみ) 1/11～1/13(午後3時)	(面接1/19)	—	○	1/26	一般入試A 2/15～2/17(午後3時)	2/21	[5教科型] 国・社・数・理・英(リスニングを含む) [3教科型] 国・数・英(リスニングを含む)	—	2/28	定員に 達しない 場合	
		一般入試B(特進コースのみ) 3/18(正午)	(面接3/18)	—	○	3/18							
創造学園	普通	奨学生入試 12/20～12/22 12/26～12/27 1/10～1/11(午後4時)	1/13	国・社・数・理・英の5 科目 又は 国・数・英 数・理・英 国・社・英 の3科目から 選択	—	1/16	2/14～2/17(午後4時)	2/21	国・数・英 イラスト(マンガ・アニメ科のみ)	○	2/28	定員に 達しない 場合	
	普通 環境福祉 マンガ・アニメ Webクリエイター	学校長推薦入試 1/13～1/19(午後4時) 自己推薦入試 1/13～1/19(午後4時)	1/21	作文(全科) イラスト(マンガ・アニメ科のみ)	○	1/27							
松本第一	普通 食物	推薦・奨学生入試 1/12～1/17(午後5時)	1/20	作文(全コース) 鉛筆画(美術工芸コースのみ)	○	1/20	2/13～2/16(午後5時)	2/21	国・数・英(リスニングを含む) 鉛筆画(美術工芸コースのみ)	○	2/28	定員に 達しない 場合	
	普通	特別入試(SS大進コース・総合 進学コースのみ) 1/23～1/26(午後5時)	1/31	作文(全コース)	○	1/31							
エクセラン	普通 福祉 美術	学校推薦 1/16～1/19(午後4時)	1/24	実技(美術科のみ)	○	1/27	2/13～2/17(午後4時)	2/21	国・数・英 実技(美術科のみ)	○	2/28	定員に 達しない 場合	
		自己推薦 1/16～1/19(午後4時)		作文(全科) 実技(美術科のみ)									

(注) 1 「推薦入学者選抜」欄は、推薦入試に関する日程、「一般入学者選抜」欄は、一般入試(学力検査中心)に関する日程です。

2 「推薦入学者選抜」欄に特に注釈がないものは、従来型(中学校長推薦)の推薦入試です。

3 「願書受付期間」欄の()は、受付最終日の受付終了時間を記載してあります。

4 「学力検査日」欄の()内は、面接日程が別に設定されている場合の当該日程を記載してあります。

平成29年度私立高等学校（全日制）の募集定員

私学・高等教育課

区分 学校名	全 日 制								
	前年度募集人員	第1学年 募集予定人員							
		募集予定人員	学科別募集予定人員						
		普通	商業	家庭	理数	美術	福祉	情報	
長野清泉女学院	215	215	215						
長野女子	120	120	120						
文化学園長野	220	220	220						
長野日本大学	310	315	315						
長野俊英	235	235	235						
上田西	290	295	295						
佐久長聖	335	335	335						
東海大学付属諏訪	310	315	280			35			
伊那西	180	180	180						
飯田女子	225	230	230						
東京都市大学塩尻	255	260	260						
松商学園	440	440	360	80					
創造学園	190	190	115				マンガ・アニメ 35	環境福祉 20	Webクリエイター 20
松本第一	195	195	120		食物 75				
エクセラシ	120	120	90				15	15	
インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢 (ISAK)	50	40	40						
合 計	3,690	3,705	3,410	80	75	35	50	35	20

(注) 長野清泉女学院高等学校の募集予定人員には、長野清泉女学院中学校からの入学予定者 36 名が含まれ、文化学園長野高等学校の募集予定人員には、文化学園長野中学校からの入学予定者 27 名が含まれ、長野日本大学高等学校の募集予定人員には、長野日本大学中学校からの入学予定者 85 名が含まれ、佐久長聖高等学校の募集予定人員には、佐久長聖中学校からの入学予定者 133 名が含まれています。インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢 (I S A K) の入学時期は 8 月 1 日となります。

長野県公立高等学校入学者選抜の倍率・進学率の推移

	区 分	募集 定員	比 率			
			倍 率		進学率	充足率
			前期	後期		
H29	公立全日制	15,800	1.56	1.07	74.1%	97.4%
	県立定時制	1,120	1.46	1.11	2.8%	52.0%
	私立計	3,665	1.05	1.34	17.4%	98.3%
H28	公立全日制	15,640	1.65	1.07	75.3%	99.2%
	県立定時制	1,120	1.36	1.11	2.8%	51.2%
	私立計	3,640	1.03	1.23	17.0%	96.5%
H27	公立全日制	15,960	1.58	1.08	74.9%	98.5%
	県立定時制	1,120	1.37	1.12	3.0%	55.8%
	私立計	3,720	1.03	1.15	16.8%	95.0%
H26	公立全日制	16,240	1.57	1.08	74.6%	97.9%
	県立定時制	1,160	1.58	1.20	2.9%	53.9%
	私立計	3,765	1.02	1.13	16.9%	95.4%
H25	公立全日制	16,240	1.62	1.09	75.1%	98.3%
	県立定時制	1,160	1.43	1.12	2.9%	52.7%
	私立計	3,765	1.02	1.13	16.6%	93.8%
H24	公立全日制	16,360	1.62	1.08	75.2%	97.9%
	県立定時制	1,160	1.53	1.18	3.0%	55.6%
	私立計	3,805	1.01	1.08	16.3%	91.4%
H23	公立全日制	16,400	1.68	1.07	75.4%	97.7%
	県立定時制	1,160	1.68	1.16	3.7%	67.2%
	私立計	3,805	1.02	1.13	15.8%	88.2%

※ 中学校卒業生数(5月1日現在)に対する割合

平成29年度 旧12通学区別入学者流出入表(公立全日制)

		From 中学校の所属通学区													流入
		1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	12区	県外	
To 高校 の 旧 通 学 区	旧通学区	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	12区	県外	流入
	1	222	66	15	2	0	0	0	0	0	0	0	4	6	93
	2	27	832	362	10	0	1	0	0	1	0	0	0	0	401
	3	35	192	1237	382	10	6	1	2	1	1	13	8	6	657
	4	1	6	219	916	52	3	0	0	0	0	7	1	3	292
	5	0	3	5	144	1200	122	0	0	0	0	0	0	4	278
	6	0	1	5	16	135	1441	0	0	1	0	7	2	6	173
	7	1	0	0	0	0	1	1312	107	2	0	106	3	3	223
	8	1	0	0	1	0	0	17	1207	24	0	12	0	2	57
	9	0	0	0	0	0	1	0	53	1284	0	2	0	0	56
	10	0	0	0	0	0	0	2	3	3	175	13	0	24	45
	11	0	1	2	0	0	1	51	9	3	6	2437	183	10	266
	12	1	0	2	0	1	0	4	0	0	0	140	261	18	166
	流出数	66	269	610	555	198	135	75	174	35	7	300	201	82	2707
	流入数	93	401	657	292	278	173	223	57	56	45	266	166		2707
	流入-流出	27	132	47	-263	80	38	148	-117	21	38	-34	-35		

平成 23～25 年度長野県公立高等学校入学者選抜に関するアンケートについて

1 調査対象及び調査期間等（平成 23～25 年度）

調査対象	調査期間	回答数
入学者（全日、定時）	4 月下旬～5 月下旬	約 16,000 (回収率 95～97%)
入学者の保護者（ 〃 ）	4 月下旬～5 月下旬	約 13,200 (回収率 78～80%)
中学校郡市校長会長	5 月中旬～6 月上旬	16 郡市
公立高等学校長（副校長含む）	6 月下旬～7 月上旬	公立高等学校（87 校、地域キャンパス含む）

2 集計結果の概要について（平成 23 年度）

(1) 公立高等学校入学者及びその保護者に対するアンケートの集計結果（数値は入学者のみ）

〔概要〕

- 今回の前期選抜の改善については、「不合格者が減る」（18.4%）、「不公平感がなくなる」（43.6%）、「学習に集中できる」（40.6%）、「授業に集中できる」（17.7%）など肯定的に評価する入学者や保護者が多い。その一方で、「後期選抜のみとなり、自由に志願しにくい」（46.5%）、「学力以外の面を評価してもらい機会が少なくなる」（35.8%、34.0%）ととらえる人も多い。
- 前期選抜に志願した理由は、募集の観点に当てはまると考えた人（36.6%）とともに、受検機会を生かしたいと考えた人（31.4%）が多い。
- 前期選抜に志願しなかった理由は、受検したいと思った高校が前期選抜を実施しなかったからと答えた人（62.2%）が多い。
- 前期選抜を実施しない学校の選抜方法については、多くの入学者・保護者がこのままで良いと評価（84.2%）している。
- 募集の観点などは、さらにわかりやすく、具体的になるように要望する声（41.5%、32.2%）が多い。

アンケート集計の例

〔問 5〕 全日制 28 校において前期選抜を実施しなかったことについてどのように考えますか。（複数回答）

	入学者全体	保護者
以前は前期選抜で不合格者が多数出たが、それが解消される	18.4 %	21.0 %
学力検査と調査書により合否が判定されるので、選抜基準が明確になり不公平感がない	43.6 %	58.0 %
前期選抜の準備をしないで済むので、後期選抜に向け学習に集中できる	40.6 %	41.6 %
前期選抜の合格者が少なくなるので授業に集中できる	17.7 %	20.5 %
入学者会、部活動、ボランティアなど、授業以外の実績を生かす機会が少なくなる	35.8 %	22.7 %
自分が得意とする学習分野や将来への希望・意欲などを評価してもらい機会が少なくなる	34.0 %	29.3 %
後期選抜しか受検できないので、不合格になることを恐れ、自由な志願がしにくくなる	46.5 %	29.4 %
その他・無回答	9.4 %	11.6 %

(2) 中学校郡市校長会長に対するアンケートの集計結果 ※（ ）内の数値は郡市数ではなく回答数

〔概要〕

- 「多数の不合格者への対応が減った、面接や志願理由書の指導が減った」（47）など、進路指導上の負担が軽減されたとする意見とともに、「生徒の進路に対する意識が向上した」（14）、「学習に集中して取り組めるようになった」（29）など、全日制普通科 28 校で前期選抜を実施しなかったことに対する肯定的な意見が多くみられた。

- 「制度が変わったため志望校決定など新たな進路指導上の負担が増えた」(18)、「前期選抜の継続を望んだ生徒がいた」(15)、「私立高校との併願が増えた」(12)、「進路を早く決めたいため第1志望でない学校を志望する生徒が見られた」(6)などの指摘もみられた。
- 前期選抜を実施する際の改善点については、募集の観点や合否基準の明確化(23)、志願理由書の様式の統一(14)などを求める意見が相変わらずみられた。

(3) 公立高等学校長に対するアンケートの集計結果

集計結果 (主なもの)

※ ()内の数値は同様の回答をした学校数

① 前期選抜を実施しなかった普通科 28 校の様子

主な変化	理由として考えられること
後期選抜の受検倍率が上昇した (11)	他校普通科の前期選抜を受検していた成績上位層の生徒が、その学校の前期選抜がなくなり、当該校を受検したため。
特色学科(理数、英語科等)の前期及び後期受検者数が大幅に増加した。(5)	前期選抜を実施しない普通科志望の成績上位層の生徒が、前期選抜を実施する特色学科を受検したため。
受検者数が減少したり、定員割れを起こし、再募集を実施した。(9)	早く合格したいと考える生徒が、前期選抜を実施する公立高校や県外高校、私立高校に進学したため。
クラブ加入率が低下したり、部活で活躍した生徒が私立高校に進学した。(5)	部活動の実績が前期選抜で生かせなくなったため。

② 前期選抜を実施した普通科の様子

主な変化	理由として考えられること
前期選抜における志願倍率の上昇を予想したが、それほどの上昇は見られなかった。(10)	私立高校を併願し、合格した時点で公立高校の受検を取り消す受検者が多かった。私立高校には就学支援金制度があり、通学費のかかる遠くの公立高校より、近くの私立高校を選ぶ傾向がある。
志願者数が増加したり、女子の割合が上昇した。(8)	女子を中心に成績中位層が、安全志向から、学校の方針や教育内容に特色のある前期選抜実施校を受検した。

③ 職業科(普通科併設校含む)や特色学科、総合学科の様子

主な変化	理由として考えられること
前期選抜志願者数が増加したり、調査書評定上位者が増加した。(8)	安全志向や早いうちに進路を決定したいという心理が特に女子の成績上位者に多い。また、成績中位層の受検者が、特色ある職業科や総合学科の前期選抜を受検した。
前期選抜不合格者の多くが後期選抜では受検しない。(8)	早く進路を決めたいという心理から私立高校を受検したり、確実に合格できそうな高校を志願する傾向があった。
志願者数の減少や定員割れを起こした。(5)	他地区や私立高校への進学者、通信制や夜間定時制への進学者が増加した。
前期選抜、後期選抜ともに志願者数が増加した。(2)	実学重視の特色ある教育や資格取得が盛んな高校を選ぶ傾向がある。また、経済状況の悪化から、今まで私立高校に進学していた層の生徒が公立高校を選択するケースもみられた。

④ その他の要望等

- ・前期選抜の募集枠を拡大してほしい。(職業科7、普通科2)
- ・中学校長推薦(学校推薦)を再度導入又は併用することを検討してほしい。(3)
- ・前期選抜の校長裁量を職業科だけでなく総合学科にも拡大してほしい。(2)

入学者選抜制度等検討委員会 課題の整理（案）

平成 29 年 7 月 27 日

選抜制度等に関する課題・意見等

前期選抜に係る課題・意見

○ 合否の判定基準

- ・合否の判定基準が曖昧である、あるいは合否判定への納得が得にくいとの声を受け、募集の観点の明確化や評価方法の具体化及び明確化を進めてきている。

○ ある程度の不合格者数

- ・前期選抜の趣旨の周知や中学校の適切な進路指導、募集の観点や評価方法の具体化及び明確化により、不合格者数は減少傾向にある。

○ 中学三年生の指導

- ・前期選抜後、前期合格者と後期受検者が混在することで指導上の困難さが生じる。

○ 学力伸長

- ・学力検査を受検しない全体の 3 割強の前期選抜入学生について、その学力実態把握の問題と、学力低下の懸念がある。

○ 選抜事務の負担

- ・志願理由書など提出書類が多く、作成に多くの労力を要している。
- ・選抜業務が長期に渡り、中高の現場での負担感が大きい。

○ 受検生の志願状況、受検機会

- ・受検のチャンスが減り、不合格を恐れ自由な志願がしにくくなる。
- ・安全志向や早い段階で進学先を決めたいという心理により、前期選抜を実施する公立高校や私立高校に進学する者あるいは私立高校との併願者が増加した。

前期・後期選抜に係る課題・意見

○ 「学びの改革 基本構想」

- ・通学区制の在り方。
- ・「学力の三要素」を適切に評価する入学者選抜制度の在り方。

○ 入学者選抜制度の見直しに関する国の動き

- ・高大接続システム改革、学習指導要領の改善、インフルエンザ罹患者等に対する追試験等

部外秘の資料（別冊 p.1～4）及び次の資料は掲載できません。

◆ 【P10～11 の資料】

平成 29 年度学力検査について ～ 各校からの要望・意見 ～

◆ 【P12～25 の資料】

高大接続改革や学習指導要領の改訂の概要について

（資料として使用したものは、次に示す文部科学省の公式 Web サイト <http://www.mext.go.jp/> に掲載されていますので、そちらをご覧ください。）

【p. 12～18】

高大接続システム改革会議「最終報告」の公表について（平成 29 年 7 月 13 日）

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/033/toushin/1369233.htm

○ 「高大接続システム改革会議概要等資料」(PDF:83KB) の p. 1～7

【p. 19～22】

高大接続改革の実施方針等の策定について（平成 29 年 7 月 13 日）

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/07/1388131.htm

○ 「(参考) 高大接続改革の進捗状況について」(PDF:179KB) の p. 1

○ 「『高校生のための学びの基礎診断』実施方針」(PDF:788KB) の p. 1

○ 「大学入学者選抜改革について」(PDF:2844KB) の p. 1、9

【p. 23～25】

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）（中教審第 197 号）

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1380731.htm

○ 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）【概要】」(PDF:291KB) の p. 24、26、29

◆ 【P27～29 の資料】

各都道府県における平成 29・30 年度入学者選抜実施状況